《校　章》

校章の制定

記録には明らかでないが，従来，稲穂やゆりの花の校章が用いられていた。

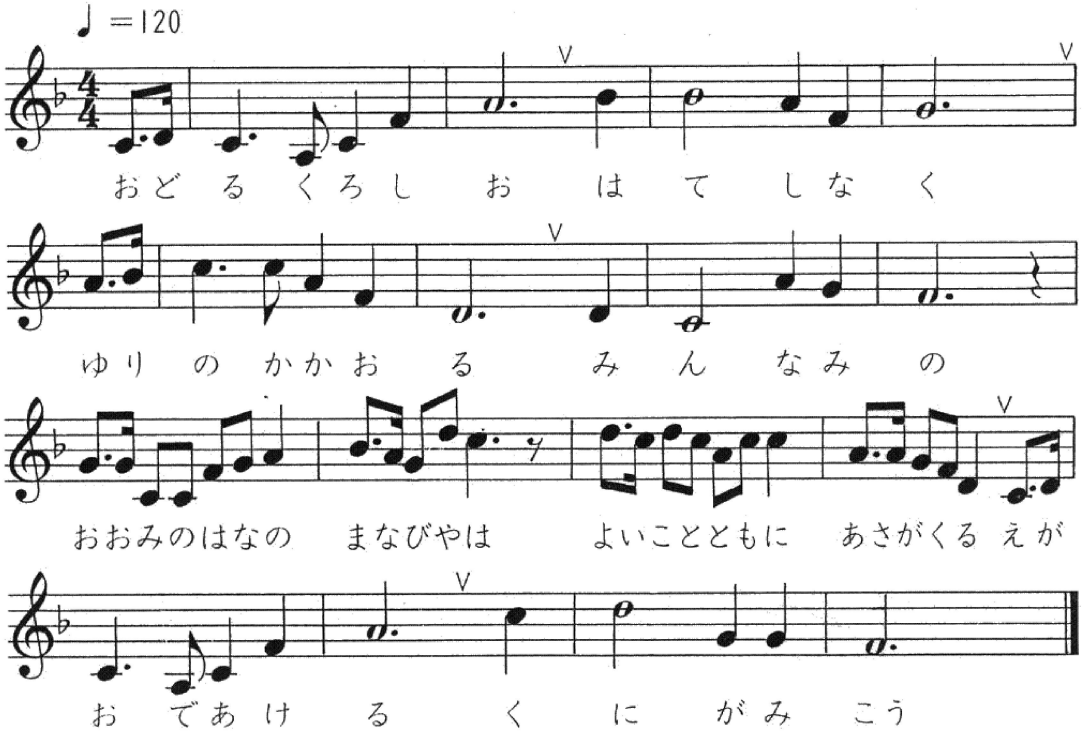
その後，稲は作らなくなり，ゆりは他校の校章とも似ており，一般的であるので，創立７０周年記念事業での校旗新調を機会に広く募集し，西村盛明氏の審査により，前原隆俊氏の作を委員会で修正採用した。

本校のシンボルとして緑の色も鮮やかに，歴史とともに生い茂り，どっかと大地に根を張る大ガジュマルが，国頭校を支えている姿を表現している。

（昭和４３年　創立７０周年記念誌より）

☆☆☆校歌☆☆☆

作詞　先　田　吉　秀
作曲　武　田　恵喜秀



一
おどる黒潮　はてしなく
百合の香かおる　みんなみの
おおみの　はなの　学び舎は
よい子と　ともに　朝がくる
笑顔であける　国頭校

二
年をかさねて　さかえゆく
緑色こき　ガジュマルに
ゆたかな夢をひろげつつ
よい子は　はげむ　ひとすじに
あかるく　すすむ　国頭校

三
知恵をみがいて　すくよかに
のびる体に　力わく
窓辺によりそう　まなこには
よい子の幸が　光ってる
希望にもえる　国頭校